

# つばた

議会だより

No.140

2017.1.1

## 迎春



12月会議

目指せノーベル賞！理科教育を充実 2P

クローズアップ 介護ロボットなどの購入に補助 4P

委員会審議 湖南大橋工事費用が増額 6P

平成27年度決算を認定 10P

いっぽん質問 加賀獅子舞をいしかわ歴史遺産に登録をなど 1人が登壇 16P

このたこステキでしょ  
(井上保育園)

## 12月会議

12月会議を平成28年12月5日から12日までの会議期間で開催した。

初日に一般会計・特別会計・事業会計補正予算、条例の制定・改正・廃止などを含む議案19件が提出され、引き続き町政全般について7人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願1件を採択、3件を不採択、意見書2件を可決した。また、人権擁護委員の推薦について同意した。

# 目指せノーベル賞 理科教育を充実 291万円計上

当町は、科学のまちを推進し、これまでも科学の祭典の開催やまちなか科学館を開設するなど事業を展開してきた。

学校教育においても、さまざまな体験をしながら学力向上につなげることを目標に、科学教育や活動を実施している。

今回、理科教育設備整備等の国庫補助事業を活用し、各小学校にプレパラートを使用せずに両眼で見ることができる双眼実体顕微鏡を、また2小学校に電子てんびんを、両中学校には人体骨格模型をそれぞれ購入する。



◀双眼実体顕微鏡を使って

# 一般会計補正予算

## 1億3373万円を可決

(全員賛成)

### 一般会計総額130億6801万円に



△善ちゃんの科学実験ショー (シグナスにて)

## 電子黒板を使用した授業を視察

電子黒板を使用した授業を視察

12月7日、全議員で津幡小学校を訪れ、7月会議で可決した電子黒板を使用した授業を視察した。算数では、発表する児童がタブレット端末を使って説明、体育では走り高跳びの練習をタブレットで録画し、電子黒板に映して先生が指導、国語ではインタビュアの動画を電子黒板に映し、よい点を見つけるなどの授業を見学し、有効に活用されていることが確認できた。



# こんなことに使われます クローズアップ

12月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

## 介護ロボットなどの 購入に補助

**370万円**

介護従事者の負担軽減を目的に、介護ロボットなどを導入する事業者に国の交付金を活用する。

**Q** 申請事業者と内容は。

**A** ふいらーじゅ内にある3施設では壁掛けセンサーを、愛の風ではセンサー付きベッドを購入する。



▲導入予定のセンサー付きベッド

## 木造住宅 簡易耐震診断委託料

**35万円**

耐震診断の申請件数が当初見込んでいたよりも増加したため、補正する。

**Q** 当初の見込み件数と現在の申請件数は。

**A** 5件、25万円を予定していたが、現在7件の申請予定がある。平成26年の制度開始以来、本件を含め22件の申請になる。

## 光ケーブル 移設委託料

**9万円**

御門地内の電柱移設に伴い、共架している町所有の携帯電話用光ファイバーケーブルを移設する。



## 人事

### 推薦された委員

人権擁護委員

(平成29年4月1日)

32年3月31日

銘形 法成氏

(鳥越)

再任



(全員賛成)

## 町税システムを改修

**54万円**

税制改正により固定資産税における遊休農地の課税強化に対応するため、電算システムを改修する。

**Q** どのように課税が変わるのか。

**A** 平成29年度から農業委員会が勧告した遊休農地の課税が、従来の1・8倍となる。

## 放課後児童クラブ

### 第3子以降の利用料を無料に

54万円



18歳未満の児童を3人以上養育する多子世帯の経済的負担軽減を図るため、一定の収入額未満の対象者に対し、施設利用料を県と町が負担補助することにより、原則無料化する。

## 住の江橋ほか10橋を点検

2205万円



▲点検で安全な橋に

社会資本整備総合交付金、防災安全の緊急経済対策事業費を活用し、橋梁の長寿命化のため住の江橋ほか10か所の点検、設計を委託する。

## 住宅用太陽光発電

### システム設置費補助金

71万円

太陽光発電システムの補助金申請が、当初予定よりも増加したため、補正する。平成28年12月現在で279件の申請がある。

## 電算システム開発委託料

378万円

マイナンバーの情報連携に活用される総合行政ネットワークのセキュリティを確保するために、インターネットから分離する方法を見直し、構築内容を変更する。

Q ネットワークの分離方法は。

A ネットワーク機器で総合行政ネットワークとインターネット接続系ネットワークを論理的に分離しつつ、仮想環境の構築によりインターネット閲覧を可能とする。

※総合行政ネットワーク

地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワーク。

## 条例

### 消費生活センターを

設置

現在の消費生活相談室を、消費者安全法の規定に基づく消費生活センターとして運営するため、条例を制定する。

従来消費生活相談員1名に加え、新たに消費生活センター長を任命し、消費生活相談の体制強化を図る。

(全員賛成)

### 平成29年3月に

### 河合谷診療所を廃止

河合谷診療所を、平成29年3月末をもって廃止することとした。

昭和30年の開設以来、河合谷地区を中心に地域に根ざした診療を行ってきたが、受診者数の減少、医療機器の老朽化などにより、医療体制の維持、継続が難しくなってきたことなどの事情によるものである。

(全員賛成)



▶役目を終えようとして  
閉鎖中

# 委員会 審議

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

**総務**（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎荒井 克◎河上孝夫 西村 稔 角井外喜雄 塩谷道子 向 正則

**文教福祉**（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎八十嶋孝司◎道下政博 竹内竜也 酒井義光 洲崎正昭

**産業建設**（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎森山時夫◎谷口正一 森川 章 井上新太郎 多賀吉一

(◎委員長 ◎副委員長)

## 総務

### 金沢弁護士会館

#### 建設に補助

-総務課-



▲お気軽にどうぞ（町福祉センター内）

**Q** 町が負担する必要が  
あるのか。

**A** 金沢弁護士会は町の行  
政とのつながりが強く、  
また福祉関係の無料相  
談を担当してもらって  
いる。

**Q** 建設費負担の内訳は。

**A** 県と各市で4300万  
円、各町で350万円  
負担する。当町の負担  
金は32万9000円で  
ある。

## 文教福祉

### 胃がん検診の 受診者が増加

#### 増加理由は、 検診方法に胃カメラが 加わったことと、受診 先の医療機関が2か所 から3か所となったこ とが要因である。

-健康こども課-

**Q** 当初の見込みと現在の  
受診者数は。

**A** 当初は600名を見込  
んでいたが、平成28年  
11月現在で836名の  
受診があった。

**Q** 増加理由は。

**A** 検診方法に胃カメラが  
加わったことと、受診  
先の医療機関が2か所  
から3か所となったこ  
とが要因である。



▶ 早めに検診を

## 産業建設

### 請負契約の一部変更

#### 湖南大橋工事費用が増額

-都市建設課-



▲腐食した橋桁

**Q** 増額の主な理由は。

**A** プラスト工法による塗  
装はがしを行った際、  
廃材の成分検査結果で  
六価クロムなどが検出  
され、工事方法、廃材  
処理が著しく変更とな  
ったため。

**Q** 工事方法の変更内容は。

**A** 廃材が河川に落ちない  
よう補修足場を密閉式  
にする。また、リサイ  
クル処理から町外の指  
定された管理型最終処  
分場へ移行する。

# 12月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	議決結果	森川章	竹内竜也	井上新太郎	八十嶋孝司	西村稔	荒井克	森山時夫	角井外喜雄	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	洲崎正昭	河上孝夫
「いじめ防止対策推進法」の改正に関する意見書を政府に送付する請願書	不採択 賛5・反10	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	-	×	○	○	×
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書	不採択 賛1・反14	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-	×	×	×	×
南スーダンに駐留中の自衛隊の早期撤退を求める意見書の提出を求める請願	不採択 賛2・反13	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-	×	×	×	×
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	○

※議長は採決に加わらないため「-」で表示

## 10月会議

一般会計  
補正予算

3037万円を可決

(賛成14人・反対1人)

一般会計総額129億3428万円に

町の魅力をPR

広報特使を委嘱



▲広報特使に委嘱された女優の野際陽子さん

平成28年10月18日に10月会議を開催し、一般会計補正予算の議案1件が上程された。  
議案は各常任委員会の審議を経て可決、また平成27年度決算を認定した。

○観光宣伝推進費

21万円

町広報特使を委嘱し、各種メディアなどを積極的に活用した広報を展開する。さらなる町の物産や観光のPR、誘客を図る。

○農林施設災害復旧費

2743万円

平成28年9月18日の豪雨により被害のあった農林施設を復旧する。

○町税システム修正業務委託料

248万円

社会保障・税番号制度に対応するため、確定申告における基幹業務システムとのデータ変更など、改修を行う。

反対

社会保障・税番号制度は、個人情報漏えいや国による国民監視体制につながる懸念がある。  
塩谷道子議員

## 採択

地域防災力の向上と災害に強い  
防災拠点の整備を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区員

紹介議員

池田 邦三  
道下 政博  
(全員賛成)

## 主旨

近年、全国各地で想定を超える大規模な自然災害が発生し、甚大な被害が相次いでいる。迅速な復旧・復興とともに、安全・安心な国づくりに資する防災・減災対策は喫緊の課題であり、地域防災力の向上や適切な避難勧告のための体制構築、マンホールトイレの整備、避難所の環境整備など災害に強い防災拠点の整備を図ることを求める。



▲設置されたマンホールトイレ  
(あがた公園)

## を審査

採択された1件の請願は  
意見書を内閣総理大臣ほか  
関係機関に送付しました

## 議会運営委員会発議で

## 意見書を国に提出

## 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

議会運営委員長 洲崎 正昭

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性および自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められる。

しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代にあわせていくと考える。よって、政府におかれては、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

(賛成14人・反対1人)

## 反対

議員年金制度廃止には税金が多く投入されることへの反対もあった。無年金者や低年金者が多い中で最低保障年金制度をつくることは喫緊の課題であり、議員年金もその中で検討すべきだ。議員年金を厚生年金に一本化することにも問題を感じる。

塩谷 道子議員



# みなさまからの

# 請願4件

不採択となった請願

「いじめ防止対策推進法」の改正に関する意見書を政府に送付する

◎請願者 幸福実現党津幡支部

副支部長 喜多 善則  
紹介議員 井上新太郎  
(賛成5人・反対10人)

賛成

大津市のいじめ事件をきっかけに制定されたいじめ防止対策推進法では、いじめを行った児童生徒に対する出席停止などの処罰事項はあるが、いじめを隠蔽、加担、放置した教師などに対する処罰規定はない。いじめの根絶のためには、法改正とともに学校や教師のいじめ解決への情熱が不可欠である。

井上新太郎 議員

賛成

いじめた子どもたちや放置していた学校への憤りが深い。いじめを最初に知り得るのは学校である。気づくこと、放置しないことの重要性を考えると、罰則規定を入れることも必要なのではないか。

洲崎 正昭 議員

反対

教育公務員は、職務上、職務外において厳格な服務規律が課せられている。法はすべての子どもをいじめから守るもので、処罰感情や報復感情を満たすものではなく、人権問題として捉えるとともに教育問題として捉えるべきである。

竹内 竜也 議員

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める

◎請願者 石川県医療労働組合連合会

執行委員長 東 幸枝  
紹介議員 塩谷 道子  
(賛成1人・反対14人)

委員会の主な意見

平成28年3月会議において、医療現場の現況も鑑み国に意見書を提出している。以後9か月足らずで内容も変わらず請願が提出されたことは不本意である。意見書の意味を尊重されたい。

南スーダンに駐留中の自衛隊の早期撤退を求める

◎請願者 津幡町越中坂

西村 善男  
紹介議員 塩谷 道子  
(賛成2人・反対13人)

賛成

国連PKOの理念が住民保護に大きくシフトしている。自衛隊に駆けつけ警護や宿営地共同防護などの新任務が課せられると、自衛隊員に責任がかり命の危険もせまる。憲法9条の精神で話し合いの呼び掛け、難民の救援などの平和貢献に徹するべきだ。

塩谷 道子 議員

反対

派遣隊は施設部隊であり、治安維持は任務ではない。駆けつけ警護は施設部隊の近傍であり、限定的で応急かつ一時的な措置を行う。武器装備は自己警護の範囲内で可能な対応をするだけである。

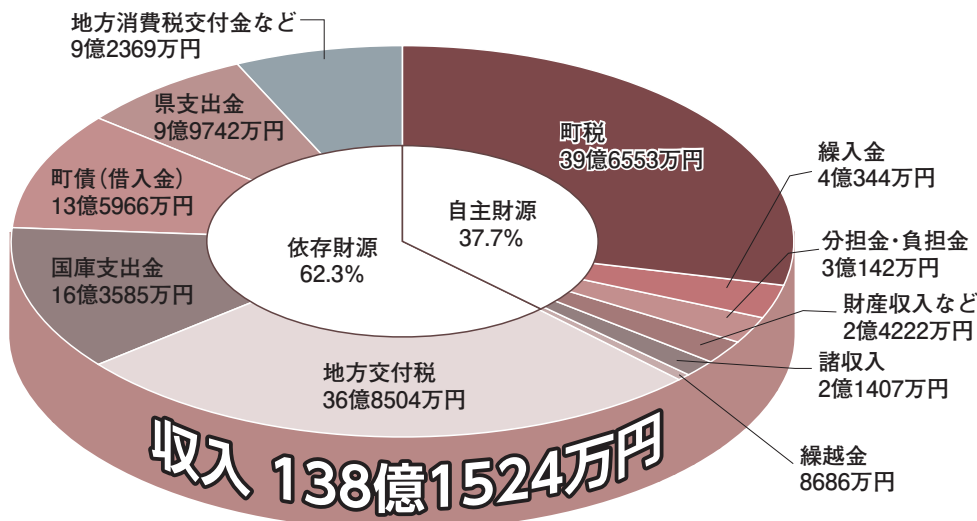
荒井 克 議員

# 厳しくチェック!!

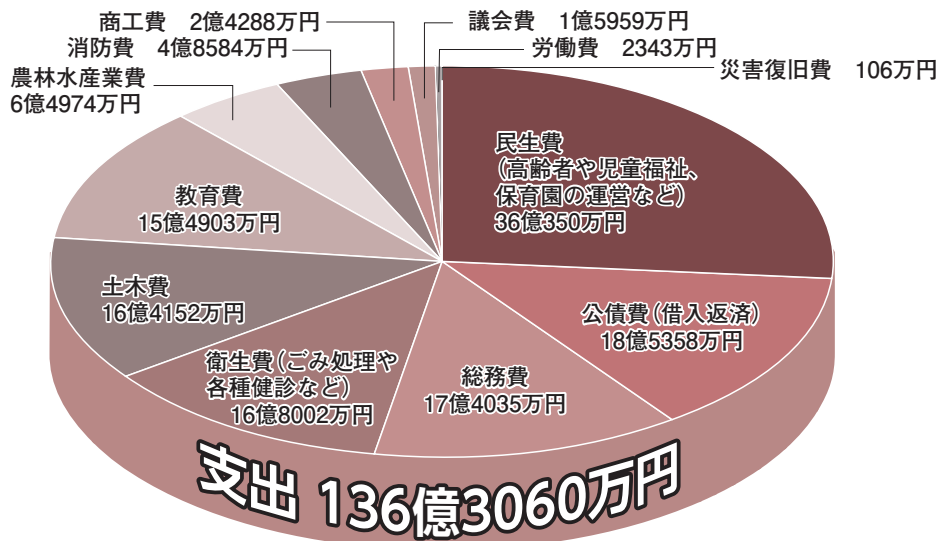
## 136億3060万円を



### ●一般会計決算● (賛成14人・反対1人)



9月会議で設置した決算審査特別委員会を平成28年9月21日から10月3日にかけて開催し、平成27年度一般会計と8特別会計、3事業会計の決算を審査した。10月会議で審査結果を報告し、認定した。



### ●事業会計● (全員賛成)

会計名	収入	支出	
河北中央病院	収益的収支	10億8601万円	11億6708万円
	資本的収支	1億488万円	1億6852万円
水道	収益的収支	8億5643万円	7億2372万円
	資本的収支	1億6045万円	3億2539万円
下水道	収益的収支	1億8148万円	1億5480万円
	資本的収支	10億2227万円	16億3400万円

※金額はすべて1万円未満で切り捨てて記載

### ●特別会計● (全員賛成)

会計名	収入	支出
国民健康保険	37億9614万円	37億6773万円
直営診療所事業 (河合谷診療所)	276万円	276万円
後期高齢者医療	3億1318万円	3億638万円
介護保険	25億675万円	24億2393万円
簡易水道事業	388万円	333万円
バス事業	8730万円	8085万円
ケーブルテレビ事業	4624万円	4624万円
河合谷財産区	55万円	55万円

# 平成27年度 決算審査

# 事業実績や効果を

## 一般会計支出総額

### 決算の主な指摘事項

#### 税・使用料について

町税や国民健康保険税、使用料などの収入未済額は、改善傾向は見られるものの依然として多額になっている。引き続き収納率の向上に努めるとともに、悪質な滞納者に対しては法的手段を徹底するなど強い姿勢で対処せよ。

#### 町民福祉部関係

各種証明書等のコンビニ交付を県内自治体に先駆けて実施するなど、マイナンバーカードの利用促進への取り組みは評価できるが、カードの交付率は高いとは言えない。利用者増に向けた普及啓発の推進により、窓口業務の効率化を図れ。

#### 産業建設部関係

津幡駅前広場で一般車両が送迎用レーンや駐車無料時間を利用せず、バス、タクシーレーンに進入するケースが多く見受けられる。音声アナウンスを利用した周知など、さらなる改善策を図れ。

#### 環境水道部関係

水道事業の有収率は、前年度より0.7ポイント減少した。効率的な事業運営と経営の安定化を図るため、今後とも計画的に漏水調査と老朽管更新を推進し、有収率の向上に努めよ。

#### 教育部関係

まちなか科学館の出前講座は科学体験を広める取り組みとして有効であり、機会の拡充に向けてPRをさらに強化せよ。また、まちなか科学館、科学の小径、ふるさと歴史館を結ぶ経路を活用した学習企画の実施に取り組み。

#### 河北中央病院関係

引き続き改革プランの目標達成に向けて、経営健全化、医療水準の向上への取り組みを推進せよ。

### 総括

当町の財政状況は毎年改善されているが、長期的には税収の大幅な増額は見込めず厳しい財政状況が続いている。

こうした中、地方創生に向けた施策の取り組みが重要となっており、各種事業を着実に実施するための財源を確保し、最少の経費で最大の効果を挙げることができるよう、計画、実行、評価、改善を継続的に行い、引き続き財政健全化に向けた計画的かつ効率的な行政運用に努めるとともに、行政の質の向上により一層積極的に取り組まれるよう要望する。

### 決算審査特別委員会



- 委員長 角井外喜雄
- 副委員長 荒井 克
- 委員 森川 章
- 竹内 竜也
- 八十嶋孝司
- 森山 時夫
- 河上 孝夫



安倍政権が強行採決で成立させた安保関連法のもとでは、自治体が自衛官募集をすることは許されない。また、今までに何度も述べてきたように、町道庄能瀬線道路工事の必要性を認めることができない。

塩谷 道子 議員



▲ルールを守ってね  
(津幡駅前広場)

# 文教福祉

常任委員会

10/26~27

## 健康と食事の専門ノウハウと 防災体験を学ぶ (東京都)

### 【視察の目的】

自治体が株式会社タニタの提供する活動量計を使い、健康プログラムを  
実践する事業について視察する。  
また、いつでもどこでも起こり得る災害に対する  
知恵を学ぶ。

### 【研修内容】

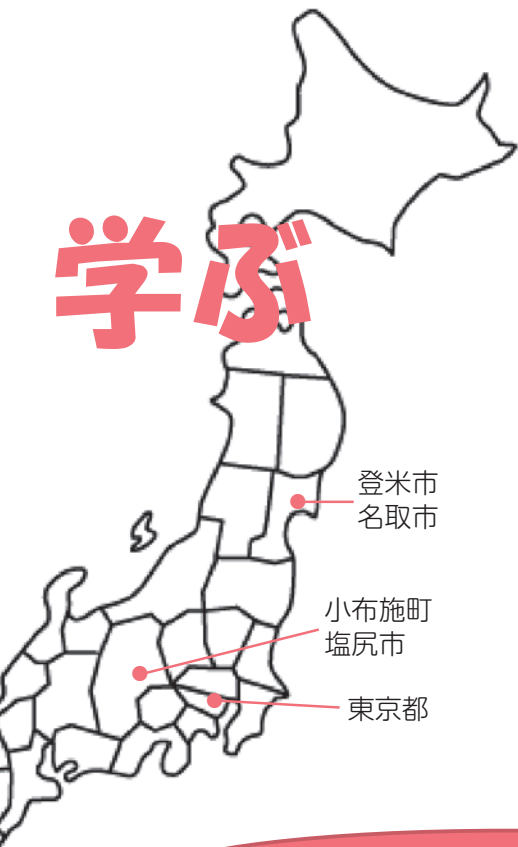
・株式会社タニタ (東京都)  
医療費削減が求められる中、同社は健康づくり政策に対する関心が高く、積極的に自治体とのタイアップを進めている。民間企業のノウハウを町の政策につなげる可能性について参考となった。



▲タニタの健康器具を前に

・東京臨海広域防災公園 (東京都)  
体験ゾーンでは、混乱した被災地からクイズ形式で生き抜くヒントを学ぶ。学習ゾーンでは、防災グッズの必要性、地震発生後の困難を乗り越え帰宅する子どもたちのアニメを見る。司令塔となるオペレーションルームでは、スケールの大きさに驚嘆した。体験は大いに収穫があった。

# 学ぶ



登米市  
名取市

小布施町  
塩尻市

東京都

## ブランド化戦略と 有害鳥獣対策を学ぶ

10/26~27

(長野県小布施町・塩尻市)

# 産業建設

常任委員会

### 【視察の目的】

農産物の需要拡大やブランド化を図るため、6次産業化の推進について視察する。  
また、有害鳥獣による農作物への被害防止対策の先進的事例を視察し、今後の施策の参考とする。

### 【研修内容】

・小布施町役場  
小布施町は、年間120万人を誘客する魅力ある町である。栗のほかに6次産業化によるブランド化戦略を展開、訪れる人に商品を評価してもらい、国の支援に頼らず自らの努力でブランド品の確立を図っている。  
今後、当町としても誘客数を増やす施策が必要であると感じた。  
・塩尻市役所  
塩尻市では過去に鳥獣類の追い払い対策をしていたが、個体数の減少につながらなかった。地元  
の農家や猟友会、企業、自治体が一丸となり、農業分野のICTを積極的に活用し、独自のネットワークを構築、被害激減に大きく貢献した。  
このシステムの導入に当たっては、費用、地理的条件に課題がある。当町では捕獲実績は上がっているため、今後の情勢に変化が起これば導入を検討する必要がある。



▲6次産業の工場見学 (小布施町)

# 総務

## 常任委員会

### 新庁舎建設と日本遺産を学ぶ

(兵庫県太子町・淡路市)

10/27~28

# 先進地に 委員会視察レポート

### 【視察の目的】

近年、新庁舎を建設した自治体の建設までの概要について視察する。

また、日本遺産認定までの取り組みを学ぶ。

### 【研修内容】

#### ・太子町役場

総事業費は41億円で、庁舎は町民の交流拠点と考え、行政棟、地域交流棟、議会棟が芝生広場を中心につながっている。新庁舎建設について説明会を5回開催するなど、主役は町民という意識で取り組みの大切さを学んだ。

#### ・淡路市役所

総事業費は20億円で、合併までに庁舎を建設するため、仮庁舎としてリースしていたものを買戻した。建設にはさまざまな手法があることを認識した。

日本遺産登録はストーリー性ととともに、地域づくりのビジョンや推進体制が求められる。淡路市で青年会議所が中心となったように、当町でも地域や民間とつながる組織が必要であると感じた。



▲災害時には避難所ともなる議場（太子町）



# 議会運営委員会

## 県森林公園活性化対策特別委員会

### 【視察の目的】

議会改革の取り組みと財務常任委員会における分科会方式による審査方法について、また森林セラピーの取り組みについて、それぞれ先進地を視察する。

### 【研修内容】

#### ・名取市議会

議会改革として、住民意識調査や議会懇談会を行っている。また、正副議長選挙に当たり、立候補者による所信表明を実施している。

予算と決算の審査は、全議員（決算は監査委員を除く）をもって構成する財務常任委員会で行っており、予算は全委員で、決算は3常任委員会をそれぞれ所管の分科会として審査している。

#### ・登米町森林組合（登米市）

市の健康福祉部門と協力し、エクササイズを取り入れながら森林セラピー事業を推進している。また、スマートフォン利用者を対象としたPRに力を入れている。

11/15~17

### 財務常任委員会の取り組みと 森林セラピー基地を学ぶ

(宮城県名取市・登米市)



▲名取市議会の取り組みを学ぶ

# 区長を対象に

# 議会報告会を開催

町議会では、議案の審議の内容や議会改革の取り組みなどの活動状況を知ってもらうとともに、議会運営や議員活動に対する意見を伺い今後の議会運営に反映することを目的として、平成25年度から試行で議会報告会を開催している。

区長会とは、今回で4回目の報告会となる。



▲意見に耳を傾けて

## 報告会での主な質問・意見 (事前受付分も含む)

### 日時

平成28年11月26日  
午後6時30分～

### 出席者

39名

### 内容

- ◆ 第1部
  - ① 委員会の紹介
  - ② 議会改革の取り組み
  - ③ 平成28年会議の報告 (3常任委員会)
  - ④ 決算審査の報告
  - ⑤ 議会だよりの編集
- ◆ 第2部  
意見交換会

**Q** 議会の情報を区長に先に知らせてほしい。議会だより以外の情報が知りたい。

**A** 本会議や委員会は傍聴ができるので、参加していただきたい。また、議会の会議録も公表されている。

**Q** 大海川の生かし方と堆積土砂問題を考えてほしい。

**A** 大海川は当町唯一の清流として評価できるものであり、観光資源として生かされるとよいと考える。現地を確認したが、堆積土砂は他の河川より著しいとは言えない。

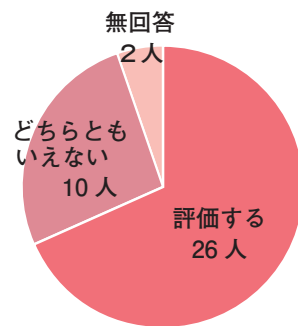
**Q** 国道8号津幡大橋で設計ミスがあったと報道されたが、議会の対応は。

**A** 担当課に確認したところ、国土交通省の工事設計にミスがあった。当町の道路、橋梁では問題はない。

**Q** 集中豪雨などが多く発生している昨今、堆積土砂の有無が大きく関係している。町の河川でも調査が必要ではないか。

**A** この問題は、各地区から要望が出されていると聞いている。議会としても精査し、取り組みたい。

【アンケート調査】  
議会報告会の評価は？  
(回答者 38人)



**Q** 各地域で多くのイベントがあるが、議会として支援にどう思うか。

**A** 町の例規で決められているものには、議会としても協力したい。

議会だより以外の情報が知りたい。

この問題は、各地区から要望が出されていると聞いている。



区長会からの質問

- 議会の情報を区長に直接知らせたい。だよ以外、特に当区に關連する情報が知りたい。
- 各地域においていろいろなイベントがあると思いますが、議会としては支援ということに關してどのように思っているのか。
- 大海川の生かし方と堆積土砂の問題について、議会として考えてもらいたい。

# 議員はどうする？

## 災害時のマニュアル制定

当町において地震や風水害などの大規模災害が発生したときに、町議会が町災害対策本部と連携を図り、町民の安全確保と災害復旧に向け、迅速かつ適切な災害対策活動ができるよう、災害対策支援本部設置要綱を制定した。

それに伴い、災害時における議員の行動を定めた災害対応行動マニュアルも制定した。主なものは次のとおりである。

### ○大災害が発生したとき

自らの安否、居場所または連絡場所を議会事務局へ連絡する。

#### ※大災害の判断基準

震度5強以上の地震や町全体に被害が及ぶ事態により避難が想定されるとき

### ○初期期の対応（発生からおおむね24時間以内）

地域の被災者の安全確保、避難誘導に地域の一人として協力する。

支援本部の招集に応じて参集し、支援本部の事務に従事する。参集が困難な場合は、その旨を報告し地域の活動を行う。

### ○初期期経過後

地域における被災状況や被災者の要望などの情報収集に努め、必要に応じ支援本部に情報を提供するとともに、地域の一人として共助の取り組みが円滑に行われるよう協力する。

### ○町対策本部への要望などの情報伝達

議員からの情報は支援本部で一本化し、議会として取りまとめる。ただし、特に緊急性のあるものは、議員が直接町対策本部へ連絡する。

## 研修報告

10/3 視察受入

鳥取県八頭町議会  
総務教育常任委員会  
定任対策について

10/4 視察受入

茨城県八千代町議会  
定任促進の取り組み  
について

10/5 視察受入

東京都瑞穂町議会  
議会改革、通年議会  
について

10/19 視察受入

群馬県吉岡町議会  
文教厚生常任委員会  
地域包括ケアシステム  
の取り組み・子育て  
支援策について

10/25 視察受入

北海道共和町議会  
総務厚生常任委員会  
定任促進支援制度・  
子育て支援策につい  
て

10/25 視察受入

群馬県榛東村議会  
総務産業建設  
常任委員会  
産業振興、観光振興  
・ふるさと納税の取  
り組みについて

11/1 研修会

石川中央都市圏議会連  
絡会 行政課題研究会  
「公会計制度改革に  
ついて」  
講師 伊澤賢司氏

11/2 視察受入

宮城県大和町議会  
議会運営委員会  
議会改革、通年議会  
について

11/8 視察受入

広島県府中市議会  
総務文教委員会  
歴史的遺産を生かし  
たまちづくり・スポ  
ーツ振興の取り組み  
について

11/22 視察受入

岐阜県養老町議会  
議会運営委員会  
通年議会について





森川 章 議員

# ん質問

## 加賀獅子舞

いしかわ歴史遺産への  
登録を目指せ

要件を満たしておらず  
認定は難しい

森川 議員

国内外の観光客を誘引するためにも、近隣市町と連携した戦略的な情報発信が求められる。

当町と金沢市、野々市市、白山市、内灘町には共通の文化として加賀獅子舞が継承されている。3市2町が連携し、加賀獅子舞の歴史をいしかわ歴史遺産への登録を目指せ。

竹田 教育部長

申請に当たっては、原則として県指定以上の文化財が1件含まれていなければならぬ。しかし、3市2町の獅子舞で要件を満たすものがないため、認定は難しい。

各市町の獅子舞の連携が可能であれば、互いに価値を高め合える可能性があるため、よりよい継承体制、情報発信方法を模索していきたい。



▲連携した情報発信を(金沢駅)

## キャッチフレーズを使うべきだ

大きなPRとなる

## 情報発信



▲町の代表的なキャッチフレーズ

森川 議員

平成28年のHABふるさとCM大賞で、当町の作品は準グランプリを受賞したが、「科学のまち、つばた」のフレーズが印象に残るものであった。

観光客誘引のためには、タイムリーな情報をいかに分かりやすく伝えるかが鍵となる。情報発信のために、印象的なキャッチフレーズを使うべきだ。

石庫 総務部長

当町の魅力発信につながる動画の利用や、観光グルメに関するキャッチフレーズを表示することは有効だ。

森林セラピー基地である県森林公園や津幡ブランド、大河ドラマの誘致活動や日本遺産登録を目指す俱利伽羅峠の情報を発信すれば、大きなPRになると考えている。

### その他の質問

**Q** 俱利伽羅峠の戦いをいしかわ歴史遺産に登録せよ。

**A** 日本遺産登録を目指している関係から、同時申請はできない。





八十嶋孝司 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっば

## 高齢者の自主返納に さらなる支援を

現時点では考えていない

### 運転免許証

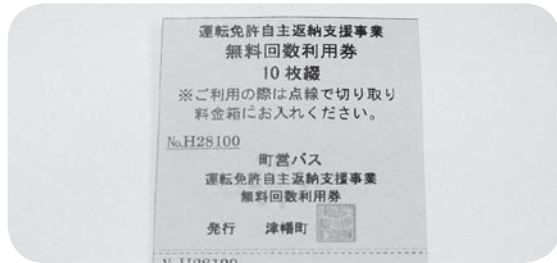
#### 八十嶋 議員

全国的に、高齢者が運転し加害者となる交通事故が相次いでいる。直後の調査では、加害者は認知症と診断されたケースも少なくない。

当町ではすでに247人の方が自主返納され、これらの方には50枚の町営バス無料回数利用券を交付している。また、再交付は何度でもできる。

#### 矢田 町長

健康なうちは町営バス、福祉バスなどを利用いただくことが健康につながることを考えており、タクシー利用券補助などは考えていない。



▲無料回数券の利用を

### 地域コミュニティ

## 所管体制見直しの考えは

議論を深めていく

#### 八十嶋 議員

今後設置予定の地区社会福祉協議会は、福祉事業の拡大や予算の増加が予想され、公民館が果たす役割はますます大きくなる。

公民館を所管する教育委員会にも限度があると考えられる。今後の計画の中で、体制を町長部局へ移す考えは。

#### 石庫 総務部長

現時点で、地区社会福祉協議会の設置にまでは至っていないが、各地域での福祉拠点づくりは着実に進められている。

公民館は、生涯学習、健康福祉、子育て、教育、防災、レクリエーションなどの場としての役割が求められることを踏まえ、将来の町長部局への移管を含め、議論を深めていく。



▲多様化する福祉に向けて

### その他の質問

**Q** 国の災害時給油所支援策の動向と町の考えは。

**A** 現在、国と事業者等で調整のため、回答はできない。



塩谷道子 議員

## 町営バス

料金の平等化を

求める

現状では困難である

塩谷 議員

町営バスの存在意義は、町内同じ運賃でどこへでも行けることである。当町では運賃が150円から480円と約3倍の差がある。町営バスの運賃の平等化を図れ。

山崎 交流経済課長

町営バスの運行全般について、町地域公共交通会議でさまざまな観点から検討を行っている。町としては、財政状況も含め、総合的な判断から最大料金の引き下げは現状では困難であると考



▲町民の大切な足

## 検診を毎年実施せよ

現状のまま実施する

### 前立腺がん

塩谷 議員

当町では、血液採取による前立腺がん検診は50歳から5年ごとに実施されているが、近隣市町ではほぼ毎年行われている。中高年男性にとっては継続的な測定は有効であることが確かめられており、毎年実施すべきである。

※PSA

前立腺特異抗原の略で、がんができると分泌量が正常の倍以上に増えるため、早期発見のスクリーニング検査が行われる。



▲検診を忘れずに

小倉 町民福祉部長

国の研究機関が作成したガイドラインによると、腫瘍マーカーPSA検査で基準値4・0を超えた方の4分の3は、前立腺がんは発見されず、死亡率減少効果も証明されていない。

また、国も検診を推奨していないため、当町としては、前立腺がん検診は現状のまま実施していく。

### その他の質問

- Q** 文化サークルの会場費への支援を求める。
- A** 基準の見直しや減免区分の改正は考えていない。
- Q** 中学校の就学援助費に部活動費を加えよ。
- A** 新たに支給する予定はない。
- Q** 福祉灯油制度を復活せよ。
- A** 現時点での実施は考えていない。



荒井 克 議員

業務設計委託

適正な報告が  
なされているのか

厳しく審査している

荒井 議員

国が発注した津幡大橋の耐震補強工事で設計ミスが判明し、強度不足が指摘されている。

当町でもコンサルタン卜会社に設計・点検業務を委託しているが、適正な報告がなされ、また設計ミスなどの指摘を受けたことはないのか。さらに、安全性・品質確保のための、町職員に対する指導状況を示せ。



町の橋梁点検は万全に

河上 産業建設部長

コンサルタント会社には、現況調査図などの精度の高い調査報告書の提出を求め、厳しく審査し受領している。

これまでに設計ミスなどの指摘を受けた事案はないが、随時指導、確認を行い対応している。

職員には、国・県が主催する各種講習会に参加させている。特に道路施設の点検や補修、更新などでは、実際の現場を使用した実地研修に派遣し、技術スタッフの育成を図っている。

役場北側庁舎

新庁舎建設に対する

基本姿勢と展望は

具体的な計画案を

作成するには至っていない

荒井 議員

平成25年12月に庁舎耐震対策検討プロジェクトチームが設置された。庁舎整備基金条例制定の上、基金目標を10億円程度とした。

役場北側庁舎の耐震化事業は、37年度から建て替えに着手し4年後には完成するとの一部報道もあるが、基本姿勢と展望は。

石庫 総務部長

未利用の町有地などを売却し、積み立てた基金は1億5800万円ほどとなっているが、具体的な計画案を作成するまでには至っていない。

第5次町総合計画で示した計画はあくまでも予定であり、有効な財源制度やPFI方式、リースによる庁舎建設など、さまざまな方法を研究しており、新庁舎建設が一日でも早く実現する方法を考えている。

▲待たれる新庁舎建設



※PFI

公共事業に民間資本や経営ノウハウを導入し、民間主体で効率化を図る政策手法。



竹内 竜也 議員

## 雇用対策

### 国との連携は

### 地域、県との

### 連携を進める

#### 竹内 議員

国と雇用対策協定を結ぶ自治体が増えている。それぞれが役割分担をしつつ、地域特性にマッチした雇用対策を進めるための動きであり、若者のU・I・Jターンを促

し定住につなげるためにも、国と自治体の連携は重要だ。

雇用対策における国と自治体の連携に対する考えは。



▲自分に合う仕事はどこ？

国と雇用対策協定を結ぶ予定はないが、金沢雇用対策推進協議会に参画し、地域における連携体制を構築している。

また、県とも連携し、若者の地元定着に向けた施策を強化すべく、県外での情報発信やイベントに協力し、雇用機会の創出に取り組んでいく。

#### 山崎 交流経済課長

## 策定の見通しは

平成28年度中には  
完了する予定である

### 職員対応要領

#### 竹内 議員

平成28年3月会議で町長は、障害者差別解消法で規定される自治体職員対応要領の策定について、県の要領を踏まえ検討すると答弁している。

合理的配慮の概念を具体化し、障害に対する正しい理解を促す上でも職員が遵守すべき服務規律としての策定には意味がある。

その後、具体的な検討は進んでいるのか。また、策定の見通しはあるのか。

#### 吉田 総務課長

当町では平成28年8月から、社会福祉課と総務課で策定のための協議を開始した。現在、県の要領を参考に進めており、28年度中には完了する予定である。

これまでも職員の接客には研修を行うなど取り組みを進めてきたが、今後も法の趣旨にのっとり、適切に対応していく。



▲障害に対する正しい理解を



井上新太郎 議員

**井上 議員**  
 集団登校中の児童の列に車が突っ込み、多くの死傷者を出す事故が全国で発生している。高齢者が加害者となるケースが多いため、通学路にグリーンの舗装や認識しやすい大きな文字のカラフルな標識を設置し、安全確保を図れ。

平成24年度の緊急合同点検で必要とされた通学路で、グリーンの路面表示を実施しており、28年度までに延長約4・7kmをほぼ終えている。通学路の表示は、警戒標識として設置基準があり、学校などの出入り口から1km以内の区域では大きさ、色が指定されている。原則として自由にはできないことになっている。



▲いざというときに備えて

災害時における自助・共助・公助の自助の観点から、家庭用の備蓄にヘルメットを加えることは重要である。一週間分の水、食料などとともに家庭でそろえていただくよう呼び掛けたい。

## 通学路

# グリーンの舗装で安全確保を図れ

計画をほぼ終えている



◀通学路に安全な設備を

## 河上 産業建設部長

**井上 議員**  
 地震などの緊急事態が発生した場合、第一にすべきことは頭部の保護であり、ヘルメットの着用である。

緊急時に地区防災倉庫

へ取りに行くのは現実的ではなく、そもそも人数分を備蓄していない。全町民による、防災ヘルメットの着用を実現するための環境整備を図れ。

地区自主防災クラブが保有するヘルメットは、整備当初は約540個であったものが、現在では各クラブが自主的に数を増やし、約1900個となっている。

## 井上 議員

## 矢田 町長

## ヘルメット

# 災害時、全町民の着用を

各家庭での備蓄を

呼び掛けたい



西村 稔 議員

## 心のケア

## 児童生徒、教職員への対応は

組織的に対応している

## 西村 議員

教育現場は、社会情勢などさまざまな要素によって影響を受ける。いじめ、不登校などの問題から明らかのように、さまざまな悩みを抱えているのか。



▲心をつないで

## 舛井 学校教育課長

いじめに対してはスクールカウンセラーなど状況を共有し、組織で対応に当たることによつて子どもたちの心に寄り添うようにしている。

また、きめ細かな配慮を要する子どもの増加に対しては、学校による取り組みだけではなく、地域と連携して豊かな心を育む教育を行っている。教職員については、管理職を含めた組織的な対応によつて、1人で悩みを抱え込まないように協力体制をとっている。

## 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります  
各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

# 追跡 あの質問のゆくえ



▲マナーを守って安全に

## つばたRecoの利用者、車の安全対策を図れ

平成28年3月会議 森山時夫議員

役場駐車場内に設置されたリサイクルステーションつばたRecoには、開設以来多くの方が資源ごみを持ち込み、好評である。

しかし、駐車場内であるため、施設利用の車両と歩行者が混在し危険だ。駐車場所を指定するなど利用者の安全対策を図れ。

### 答 弁

## 駐車場でのマナー向上に努めたい

開設以来、接触事故等のトラブル、苦情については直接聞いていないが、広報などを活用し、利用者の駐車場でのマナー向上に努めたい。

また、役場利用者との共有駐車場であるため施設指定の明示はないが、今後、優先利用の明示ができないか協議、検討したい。

### その後

## 駐車場に「Reco優先」枠を設置

平成28年9月に、Reco前の駐車場の区画線などを修繕し、「Reco優先」の文字を書いた駐車枠を11区画設置した。

また、Recoの前や建物の看板には「最徐行」の文字の記載、駐車場出入口のカラー塗装、ハンブ（自動車の速度を抑制するための突起）の設置など、駐車場内での安全運転、マナー向上を促している。

これまでに行われた質問や提言がその後どう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

## 町観光大使を任命せよ

平成27年12月会議 荒井 克議員

交流人口の拡大や観光振興を図るためには、地域ブランド、スポーツ、文化や歴史などをPRする必要がある。

当町にゆかりのある著名人を観光大使として任命し、町の魅力や情報を積極的に全国発信せよ。

### 答 弁

## 制定に向けて検討したい

観光大使の制定は、町の魅力や情報を、積極的かつ多くの方に発信できる有効な施策であると認識している。

現在、当町にゆかりのある知名度の高い芸術文化、スポーツ関係者などをリストアップしているところである。

今後、観光大使のネーミングなども含め、先進事例を詳細に調査研究し、制定に向けて検討したい。

### その後

## 町広報特使として3名に委嘱依頼

当町の魅力を広く町内外に情報発信し、イメージアップを図るため、「津幡町広報特使」を設置することとした。

平成28年11月23日、特使第1号として女優の野際陽子さんに委嘱状を交付した。今後、落語家の月亭方正さん、リオデジャネイロオリンピックで金メダルを獲得した川井梨紗子選手にも特使を委嘱する予定である。

## 議会を傍聴しましょう

◎町政一般質問は、年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。

お問い合わせは、  
議会事務局 (Tel.288-6410)



津幡町HP携帯版

# みんなで楽しくやってみよう!!

## サークル紹介第29回

## 津幡フェニックス・スキークラブ

克雪・利雪に楽しくスキーを?



ワックス講習会の模様

昭和51年夏、現在の弘願寺駐車場にあった農協会館ビル地下のスナック喫茶にて、マスターや常連のスキー好き仲間を中心に、店名をとって「フェニックス・スキークラブ」が結成されました。会員は60名を超え、年末年始の妙高高原新赤倉スキーツアーにはバスを出すほどの盛況でした。その後、スキーの楽しさや醍醐味を多くの皆さんに味わっ

会長 **勝田 浩治**  
かつた こうじ

ていただきたいとの思いから、当クラブが中心となって町スキー協会や郡市連盟が結成され、各種大会開催や県民体育大会への選手派遣ならびに競技力の向上にも一翼を担っています。県森林公園での町民スキー大会開催や太白台小でのナイター練習場の開設など、昨今では想像もできませんがこの活動から国体選手や県体優勝者なども輩出しています。第2次スキーブームも去りスキー人口は減るばかりですが、雪国に生まれた者として雪を克服し利用して生涯楽しむと会員一同張り切っています。なお、随時会員を募集しています。初心者やボーダーの方も一緒に滑りませんか。

◆連絡先  
☎080-3044  
14502(沖見)

## ディスカバー つばた⑱

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

### ～倶利伽羅神社(竹橋)～

竹橋区にある倶利伽羅神社には、「倶利伽羅合戦図屏風」が保存されており、倶利伽羅峠の激しい戦いの様子などが鮮やかに描かれています。



この屏風は能瀬出身の池田九華が描いたもので、道の駅倶利伽羅源平の郷の案内棟にレプリカが展示されています。

## 表紙の題字は

糸南小学校6年

宿野 絢萌さんの作品です。

津幡町は、自然が豊かで地域を大切にしている人がたくさんいるやさしい町です。私は、こんなステキな町が大好きです。



## あとがき

12月会議では、請願第16号に対して賛成2人、反対1人の討論があり、採決の結果も5人对10人となりました。11月には区長の皆さんと意見交換が行われました。自分の考えを持ち、意見を述べ合う、聞き合おうという関係があつてこそこの議会だと思えます。この力を磨きたいと思えます。

- 編集委員長 堀谷 道子
- 副委員長 荒井 克
- 委員 竹内 竜也
- 井上新太郎
- 八十嶋孝司
- 森山 時夫

## スマホで議会だよりを



# マチイロ

App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。